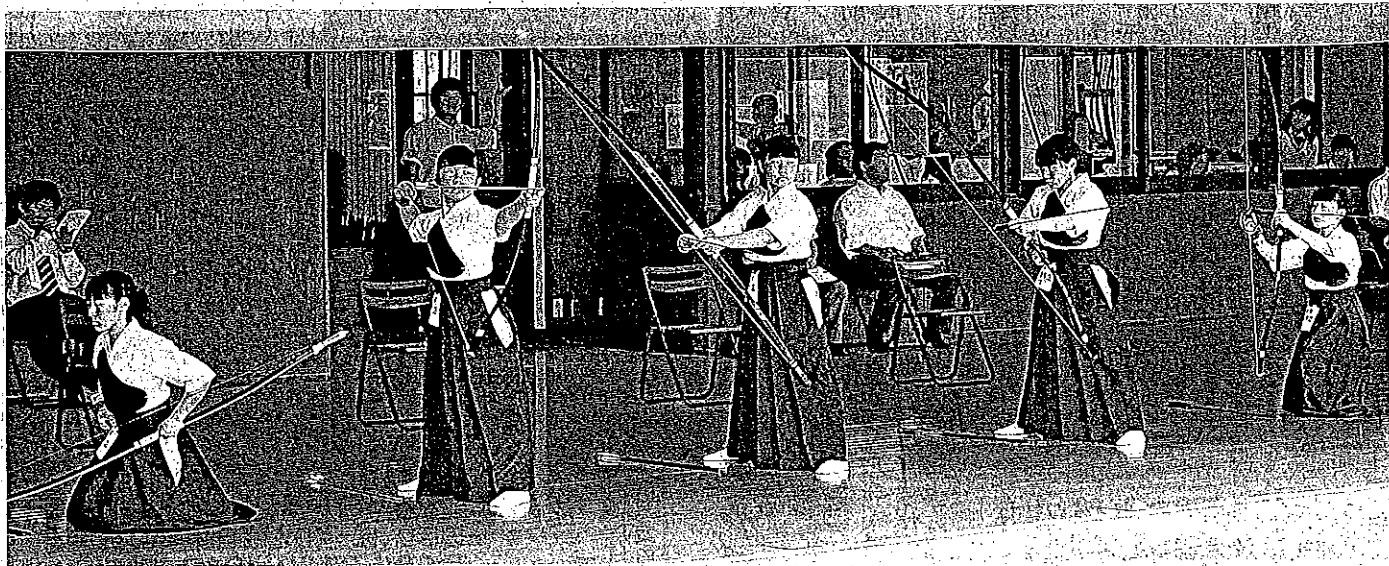


徳島市立女子 3位入賞



女子団体で3位入賞した徳島市立のメンバー—鳴門弓道場（山田旬撮影）

弓道

（鳴門弓道場）

【男子】団体予選（40射）⑧徳島科技23中11競射により決勝トナメント進出、つるぎ21中、徳島市立21中、脇野18中以上落選。
▽決勝トナメント1回戦、今治14・10徳島科技△決勝、岡豊14・11今治

岡豊は8年ぶり2度目の優勝。
【女子】団体予選（40射）⑥徳島市立25中の鳴門渦潮22中11決勝トナメント進出、富岡西18中、徳島西17中以上落選。
▽決勝トナメント1回戦、徳島市立14・13宇和島東、西条17・10鳴門渦潮△準決勝、西条15・13徳島市立△決勝、岡豊16・14西条、岡豊は3年ぶり6度目の優勝。

一本に集中 無心貫く

弓道女子で、予選を5位通過した徳島市立が3位に食い込んだ。他校の中数や順位を聞かず、強豪校が顔をそろえる決勝トナメントは「自分の一本に集中しよう」と無心を貫いた。

それその手の甲には「いつも通り」「笑顔」「勝つ」と、最終日にかける思いもしたためいた。初戦の相手は3位の宇和島東。1射目は5人中3人が外したものの、徐々に調子を取り上げ、岡崎は「落ち着いて弓を引けた」。最後の4射目は全員が的中して計14中。1中差でかわした。準決勝は優勝候補の西条を相手に踏ん張ったが、2中差

で惜しくも敗れた。県総体では最も多くの中させながら2位に終わり、反省を胸に練習してきた。皆谷主将は「四国1位を目指していたのでもう少し結果を出したかった」と悔しがったが、県勢では最高の成績を残し、晴れ晴れとした表情だった。（高杉繁樹）